



名本抄傳

八

~ 13
3363
8



門 13
3363
8

海
舟
行
積
集
下
石



名本行傳人全卷八

目錄

大正八年 廿九日
本大學出版部 贈

一 惜隨院長之流成之の事

姪
坂
敏
仁
也
久
也

夕暮

木蓮

集

花

五里花のていふ花のてい

名木山行傳人全巻八

惜施院長を居成之の中

爰小龍の組の親あやがね小惜施おんせん

院長いんていのあやがね中洲捕あなづの

名人めいじん由海洲ゆかいしゅうのあやがね口流くちりゅうの主人しゅじん

ゆゑゆゑにそのと乱らん貫くわんのあやがね留りゅう中ちゅうの

弱じやくをあやがねとあやがねにあやがねけあやがね流りゅうをあやがね

く ねんまじり 生理
非道と云く誠 生理
い の田をまか 生理
る 事とぬじ人 生理
う ざらぬのの 凡そ人
小 解 生理
の 生理 院書小

情 院書小 生理
と 生理 院書小
の 文 生理
み 生理 院書小
と 生理 院書小
堀 生理 院書小
伊 生理 院書小

生れぬあり 寺次郎 減七也
堀本伊織 伴伊之助

つま 浪 入 江戸
本 芝 澤 物 所 八百 尾 之 落

入 魂 あり 志 あり
ら 愛 あり 送 留

伊織 病 乳 付 医 療

と け ぬ こと あり

本 後 の 中 あり

病 乳 あり 下 あり

伊 之 助 あり あり

あり あり あり

女 の 時 あり あり

集 あり あり あり

るに之を侍女婦しむめに之をしむつて
欲ほふやし〜その人
邪よこ因ん放はな逸つのりののよひひて
伊い之の節し〜ぞ奴ぬ僕がのい〜
遊あそつつ〜ひひ〜世よ〜ううのこのた人らを
酒さ井い隈かみみ及およびびははそのの見み阿あ多た〜
に満みち白しろ心こころ〜も〜世よ〜ととあてハ

程ほど々々〜政せい道どうを端はた〜
〜〜〜
あ〜〜〜ああ小こ是こ〜あに
下した〜あ〜ああのの誰たれ
侍さむらい女め〜交まじ〜市いち多た中ちゆう智ち
〜のの中ちゆう甲かう小せう松しょう井い店てんをを見みる
とり〜人ひと早はや於お小せう日じつ本ほんあ〜て

あうや
長月と出ソコ〜梅の切木と以ヨリ

〜ひ〜ひ〜ひ〜秋の古やうしんこ

か〜の〜の〜の〜平院小せいで

ニ平あ〜比〜正保元年せいで

正月十日徳古路あ〜岩路がかんや

家例あ〜中〜江合しんご

〜付〜の〜の〜子郎こらう

事〜お治歩に年とし

り〜の湯青中としんご

〜とあ〜打川うちがわ

江合〜今日あまが主人しんご

宿のあまが小石川水戸の寺しんご

〜のあまが〜文十郎の輝しんご

同若文の所と〜沼洲しんご

祿^{ちうい}者^し——て^し形^{かた}い^いの^のと^とす^す
ゆ^ゆ——^しる^るま^まし^しら^らと^と文^{ぶん}の^の解^{かい}也^{なり}
と^との^のに^に合^あ議^ぎす^すあ^あり^り——う^うら^らま^ま
ん^んい^いぶ^ぶき^き公^{こう}——^しら^らと^と差^さ
字^じに^にま^まら^らし^しと^と文^{ぶん}と^とあ^あの^の——ぬ^ぬ
文^{ぶん}の^の解^{かい}は^は——^しら^らと^とと^とト^ト
す^すと^とあ^あり^りし^しる^るま^まし^しら^らと^と丸^{まる}——

と^とあ^あり^りれ^れが^がた^たま^まも^もと^と久^くま^まら^ら
し^しい^い名^なを^を見^みる^るは^はあ^あく^く同^{どう}——
中^{ちゆう}——と^とあ^あの^のと^と丸^{まる}——
立^{たつ}向^{むか}——大^{だい}智^ちの^のつ^つ中^{ちゆう}——是^{これ}と^と
男^{おとこ}——海^{うみ}所^{ところ}の^のこ^こ——と^と丸^{まる}——
ぬ^ぬぬ^ぬの^のた^たま^まが^が修^{しゆ}練^{れん}——
文^{ぶん}の^の解^{かい}は^は——と^と公^{こう}は^は是^{これ}——と^と



あつらへりしに人乱き
お節さま 蜂多 宿毒氷の
月と殿下殿とありき
さしにあふく勝敗見
さきど若親あさとりけ
あ人まづりしれり
これぞさうとにや

いれりし若親あ人剛
まのれ文の御事一日
祝言古し急しあられど
あつらへりし酒練がら
入しれりし酒は出
悟りしはまゝかた
谷白のまゝ

らんやうしやう

あゝ海州流りしりれを

ぬゝも道一〇流の名

人々もあゝ小川一宗

堀井彦を流しが石流

若坂若八して依り流の

流の御代に女若八も

しきう流則と白流

日しらん人とら解

見たりと流小

知る所の流切の流

小川の流の御代

かゝる流の流の御代

るの流の流の御代

ありてとむる流

